

1 学校目標

「常に正しきを求めて向上的態度を持とう」

2 学校経営方針

一人一人の確かな学力、豊かな感性と健やかな身体を育てることを通して、志を持って未来を切り拓き、社会的自立を果たしたくましく生きようとする生徒の育成を目指し、創意と活力ある学校経営に努める。

知：確かな学力（「知識・技能」「思考力・判断力・表現力等」「学びに向かう力」）の育成

徳：豊かな人間性と社会性の育成

体：健やかな身体と柔軟な心の育成

3 目指す生徒像，教師像，学校像

(1) 生徒像

- ① 古中に学ぶ「誇り」を持つ生徒
- ② 将来を見つめ「夢」を追い求める生徒
- ③ 仲間とともに「前進」する生徒

(2) 教師像

- ① 使命感と誇りを持ち、協働体制で学校経営に参画し、共に磨き合い、支え合える教職員
- ② 予測困難な社会にあって、教師としての志を持ち、その実現に向け努力し続ける教職員
- ③ 保護者理解と地域貢献に努め、家庭、地域社会から信頼される教職員

(3) 学校像

- ① 良き伝統と校風が継承され、新時代に相応しい取組を創り出す学校
- ② 生徒一人一人が夢の実現に向けて、安心安全に学び、活動できる学校
- ③ 保護者や地域と協働して生徒の成長を支えるため、保護者・地域から信頼され、共に歩める学校

4 重点事項（その1）… 知・徳・体の視点から

(1) 確かな学力の育成

- ① 基礎的な知識及び技能の習得 【input 重視・何を学ぶか】
 - ねらいの明確化
 - タブレットドリルの活用
 - 適用問題に取り組ませ学習内容の確実な定着を図る
- ② 思考力、判断力、表現力等の育成 【output 重視・何ができるようになるか】
 - 獲得した知識・技能を活用して課題解決に向かわせる授業展開の工夫
 - ICTの効果的な活用
- ③ 主体的に学習に取り組む態度の養成 【output 重視・どのように学ぶか】
 - 学びを開放し、自立した学習者を育成する
 - 「個別最適な学び」「協働的な学び」の一体的な充実を図る
 - 授業の振り返りで学びの自立を促し、学習内容の確実な定着を図る

(2) 豊かな人間性と社会性の育成

- ① 安心して学べる集団づくり
 - 学級づくりと学習集団づくり

- ・ i-check の効果的活用
 - ・ 体育祭や合唱等の活動を通した人間関係の構築
 - ② 生き方を考えさせる道徳教育・進路指導・キャリア教育の充実
 - 「考え、議論する道徳」の充実
 - 志教育と絡めた進路指導の充実
 - ICT を用いたガイダンス機能の一層の充実
 - FYTS と協働した3年間に渡るキャリア教育の充実
 - ③ 主体性を育む生徒会活動・部活動
 - 生徒会活動による自治意識の醸成
 - 生徒の一体感を高める行事の工夫
 - 部活動を通して自己実現を図り自己肯定感を高める
 - 部活動での異年齢との交流の中で、望ましい人間関係の構築を図る
 - (3) 健やかな身体と柔軟な心の育成
 - ① 身体を動かす楽しさを味わい、継続することの良さを実感させる
 - 運動能力テスト結果から、自らの課題解決に向けた取組を促す
 - ② 心身の健康を自ら調整しようとする意識を高める
 - 熱中症・感染症予防を自らの手で行う態度を育てる
 - 定期健康診断を通して自分の生活習慣等を見直す機会に
 - 食育を通して自分の食習慣を考え、生活習慣病等の予防に努める
 - 種々の防災訓練を通して、自分の身は自分で守る意識を一層高める
 - ③ 体験を通した学びによる豊かな心情や感性を育む指導の推進
 - 体育祭や合唱祭等を日頃の取組の成果発表の場に
- 5 重点事項（その2）… 生徒指導の観点から
- 生徒一人一人が「自己指導能力」を身に付けられるよう支援する。生徒指導実践上の4つの視点「自己存在感の感受」「共感的な人間関係の育成」「自己決定の場の提供」「安全・安心な風土の醸成」を踏まえて指導に当たる。
- (1) 規範意識を高める指導、及び心を育てる指導の充実
 - (2) 不登校対策
 - (3) いじめ問題への対応
 - (4) 登下校中の交通事故防止（自転車利用生徒のヘルメット着用義務化）
 - (5) スマホ等のメディアコントロール（1時間程度の利用時間）
 - (6) ICT リテラシーの育成と SNS 等によるトラブルの防止
- 6 学校経営において大事にしたい視点 ※変化から進化（深化）へ
- (1) 生徒の視点から ⇒生徒の自立を促す取組の設定と支援方法の工夫
 - ① 学校部活動への積極的な参加と無所属生徒に対する活躍の場の設定
 - ② ノー原稿の文化の醸成（アウトプットする力の育成）
 - ③ 生徒会行事の活性化、生徒集会等の定期的な開催
 - ④ 自立した学習者の育成に向けて⇒家庭学習（自主勉強）に特化した教育相談の実施
 - (2) 教師の視点から ⇒学校の働き方改革（魅力ある教師に）
 - ① 校務支援ソフトの本格運用（ICT の活用等）
 - ② 保護者連絡等に係る電話対応時間の設定、欠席生徒への家庭連絡の電子化
 - ③ 令和8年度からの休日における部活動地域移行に向けた環境整備等